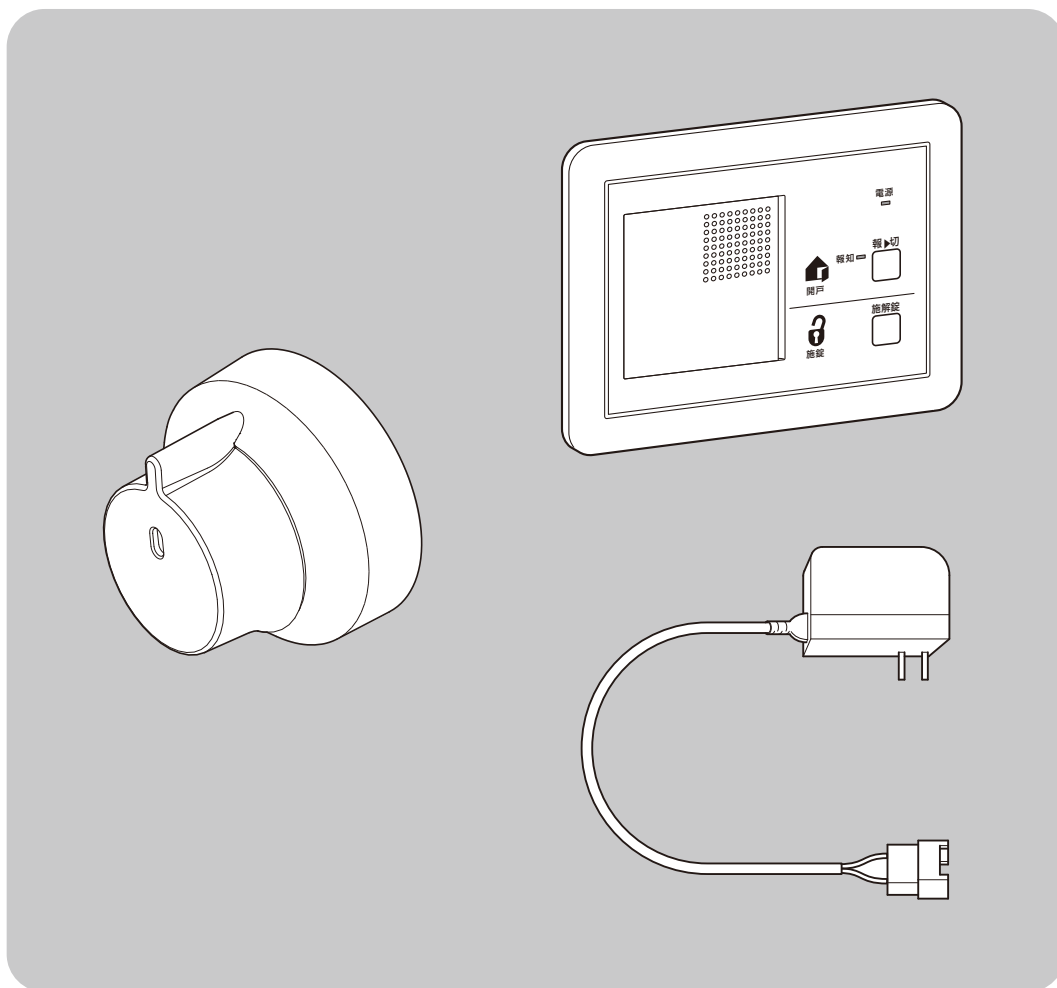


リシェント FamiLock AC100V式

取付け説明書



取付け作業にあたって

- この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。



電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>

目次

	ページ
■取付けされる方へのお願い 機器の設置で注意して頂きたいこと	1
■システム構成と作業手順 取付け部品一覧 電気錠取付け手順 梱包内容	2 3
■ドア枠への部品取付け ①マグネットの取付け ②通電金具(枠側)の取付けと 躯体内配線コードの接続	4・5
■配線コード引き出し作業 ①既設枠の切欠き加工 ②内額縁の切欠き加工	6 7・8
■ドア本体への部品取付け ①電動サムターンの取付け ②室外側化粧プレートの取付け	9
■通電金具の接続	
■建付け調整 ①枠とドア本体間のチリ寸法の調整 ②ラッチの調整 ③ストライクの調整	10
■ACアダプターの取付け	11
■機器の取付け、配線工事 コントローラーユニットの取付け 配線工事方法 パナソニック製 外でもドアホン 使用時の接続について システム配線図(オプション品)	12 13・14 15 16
■動作確認 ACアダプター式の動作確認 コントローラーユニット式の動作確認 カードキー・タグキーを使った動作確認 ドアのブザー音と表示について コントローラーユニットの ブザー音と表示について	17 18 19 20
■商品仕様	21

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

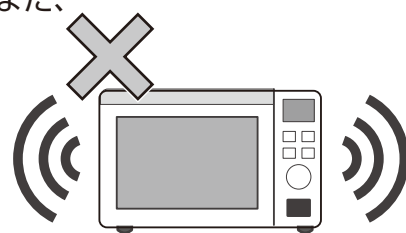
⚠ 警告

- 電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。
法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行うと事故や故障につながるおそれがあります。
- AC100V 用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。
差込みが不十分な場合、火災や破損のおそれがあります。
- コントローラーユニットなど AC100V を直接接続する機器の取付けは、ブレーカー（AC100V）を切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

■機器の設置で注意して頂きたいこと

●次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。

- ・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかる場所。
- ・他の電波式機器から 2m 以内の場所。
- ・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から 2m 以内の場所。
- ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれている場所。
- ・本製品の使用環境温度範囲は $-10^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ 、使用周囲湿度範囲は 20% ~ 90% RH です。温度が上昇する場所（直射日光・直接暖房が当たる場所・ボイラーの近くなど）や -10°C よりも温度が低くなる場所がある場所、通気性が悪く湿気の多い場所には使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。



●屋内に取付ける機器（コントローラーユニットなど）は、次のような設置場所は避けてください。故障や感電等の原因になります。

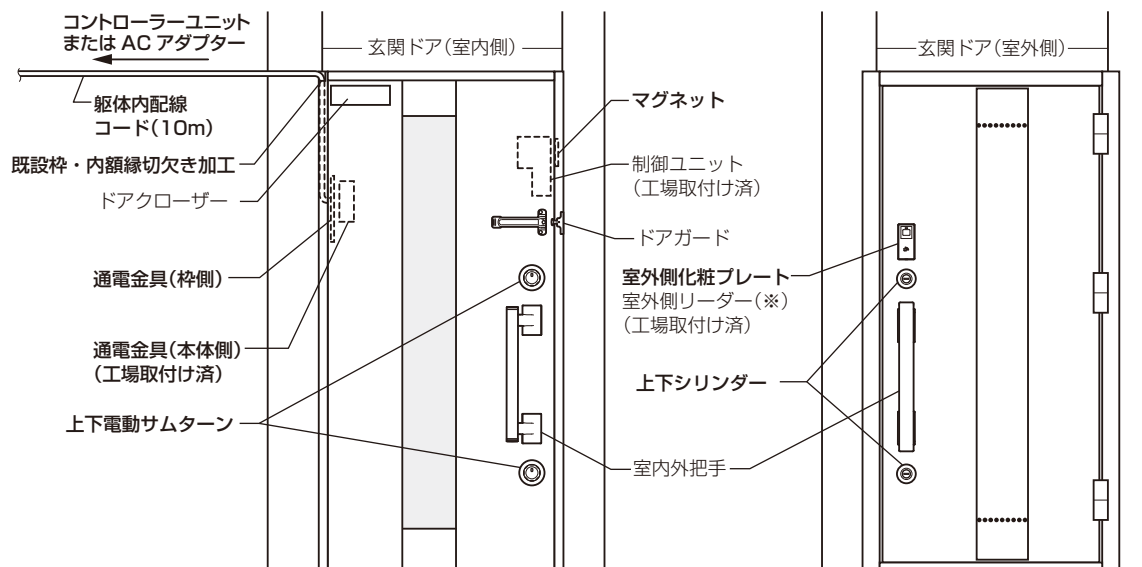
- ・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
- ・極端に寒い場所・暑い場所（冷暖房の近くや直射日光の当たる場所）
- ・ガラス窓から近い場所（ガラスを破られ、施錠ボタンから解錠されるおそれがあります。）



●玄関ドアとコントローラーユニット間が付属の躯体内配線コード（10m）で届かない場合は専用の躯体内配線コード（15m、20m）に取り換えてください。配線コードを継ぎ足す延長はできません。

システム構成と作業手順

■取付け部品一覧



※S型ハンドルの場合、本説明書に記載されている絵と異なる箇所がありますが、手順・要領は同じです。
(室外側リーダーがハンドルに内蔵されています)

■電気錠取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。
作業区分がサッシ工事と電気工事に分かりますので作業に抜けやモレが無きように進めてください。

サッシ工事区分

ドア枠の組立て、部品の取付け

- ①マグネットの取付け → (P.4)
- ②通電金具(枠側)の取付けと躯体内配線コードの接続 → (P.4・5)

配線コード引き出し作業

- ①既設枠の切欠き加工 → (P.6)
- ②内額縁の切欠き加工 → (P.7・8)

ドア本体へ部品の取付け

- ①電動サムターンの取付け → (P.9)
- ②室外側化粧プレートの取付け(※1) → (P.9)

ドアの取付け、建付け調整

- ドア本体を枠に吊り込み
- 通電金具の接続 → (P.10)
- 建付け調整 → (P.10・11)

機器の取付け、配線工事

- ACアダプター式の取付け(※2) → (P.11)

- コントローラーユニットの取付け → (P.12)

- 配線工事方法 → (P.13~16)

動作確認

- ACアダプター式の動作確認(※2) → (P.17)

- コントローラーユニット式の動作確認 → (P.17)

- カードキー・タグキーを使った動作確認 → (P.18)

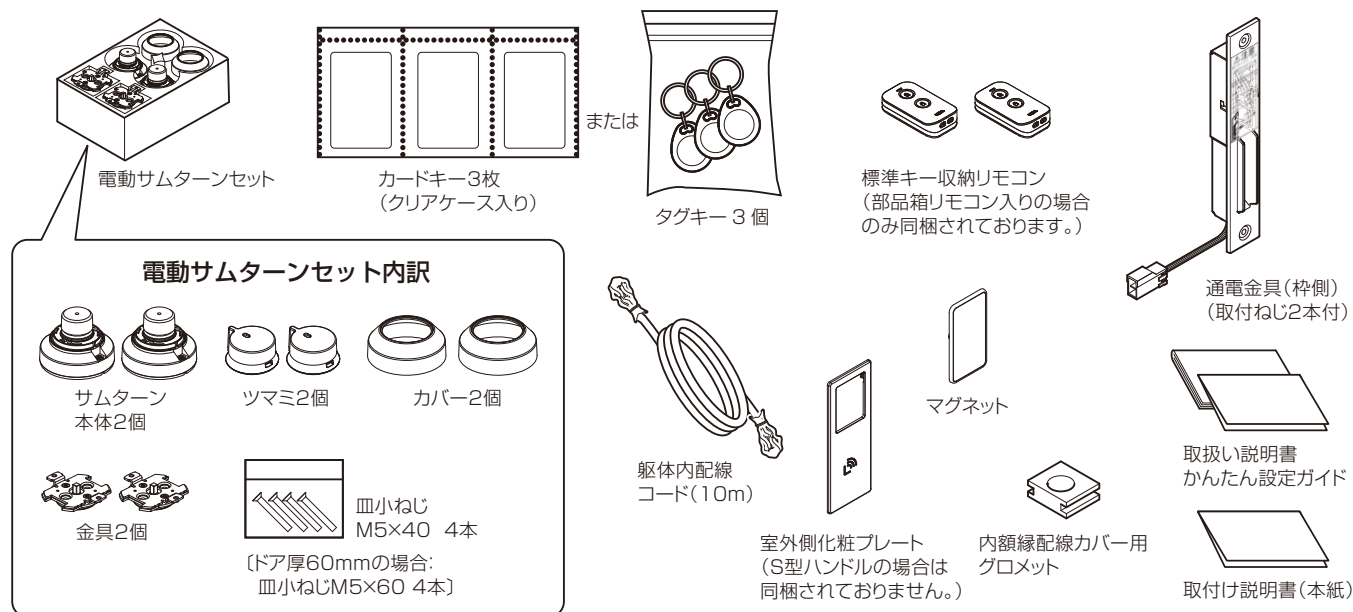
※1) S型ハンドルの場合、室外側化粧プレートを取付ける作業は不要です。

※2) コンセントに挿し込むだけの場合はサッシ工事区分ですが、コンセントの工事が発生する場合は電気工事区分になります。

※機器の取付け、配線工事については、既設の壁への穴あけやケーブルモールの設置工事等が必要になる場合があります。

■梱包内容

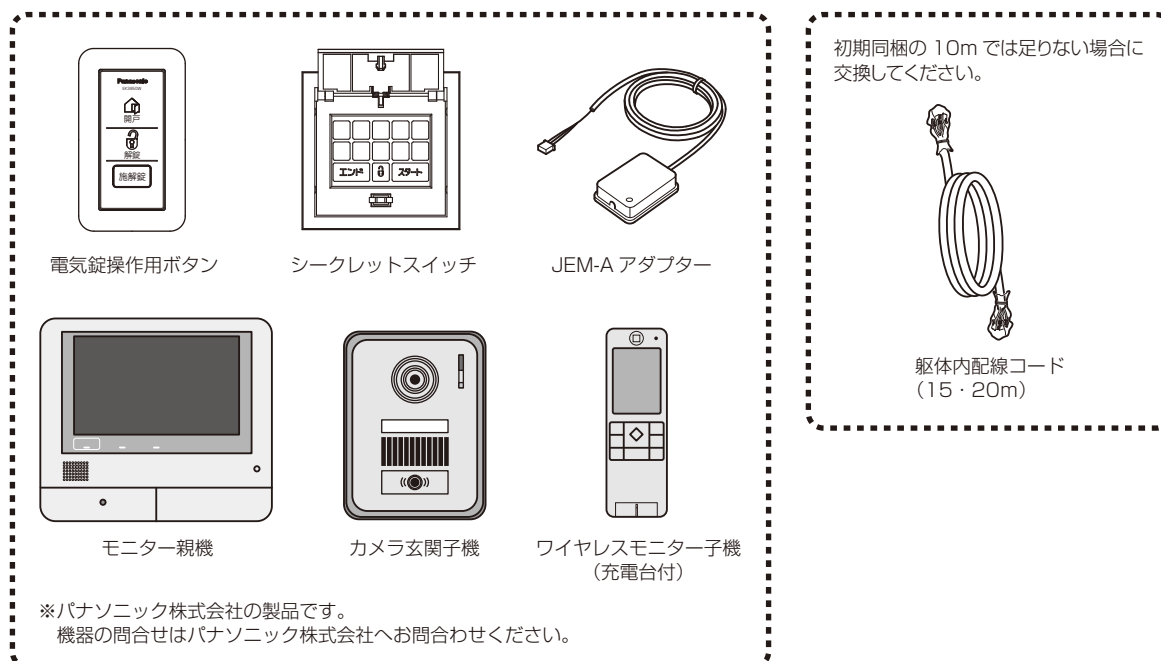
●部品箱



●入力電源部品



●オプション品 (コントローラーユニットを使用し拡張する場合)

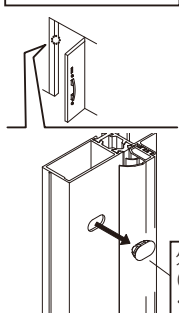


ドア枠への部品取付け

①マグネットの取付け

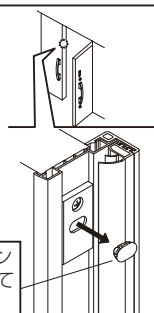
①プッシュボタンを外します。

片開き・袖付

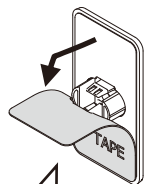


外したプッシュボタン
(材質:PVC)は捨てて
ください。

親子・両開き



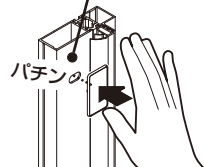
②マグネットのリケイ紙
を剥がします。



リケイ紙の剥が
し忘れにご注意
ください。

③マグネットを張付けます。

マグネット張付け面が汚れている場合
は掃除してください。汚れたまま張付
けると外れるおそれがあります。



マグネットを3秒以上強く押付け、
圧着させてください。

※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。

②通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

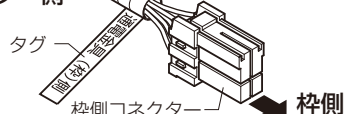
※1 躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。

※2 部品箱に躯体内配線コード(10m)が同梱されています。長さが足りない場合は、別途有償品の躯体内配線コード
(15m、20m)を手配してください。初期同梱の10m配線コードからの継ぎ足し延長はできません。

お願い

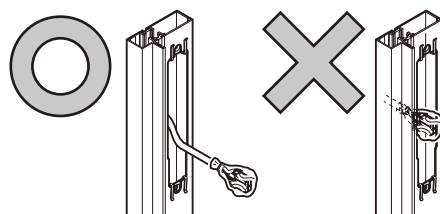
①躯体内配線コードは、コネクタ形状の違いにより、
向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示
内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線コード
の向きが正しいことを確認してください。

コントローラーユニット
またはACアダプター側



②躯体内配線コードの枠側コネクタは切欠き穴から確実に
引き出してください。

※コネクタの
ビニール袋は
被せた状態に
してください。
通しやすくな
ります。



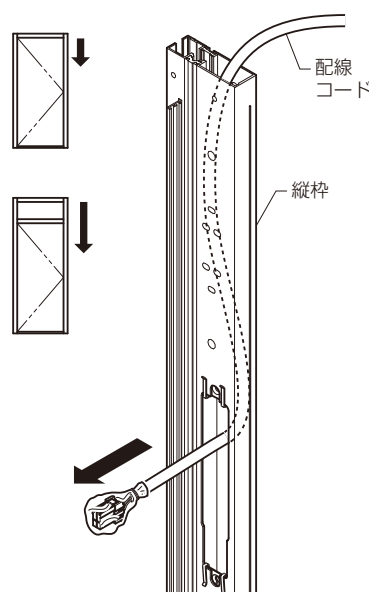
③躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。

④躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。

⑤枠を取付ける際は、枠の取付けねじとの接触による躯体内配線コードの破損・断線のないようにしてください。

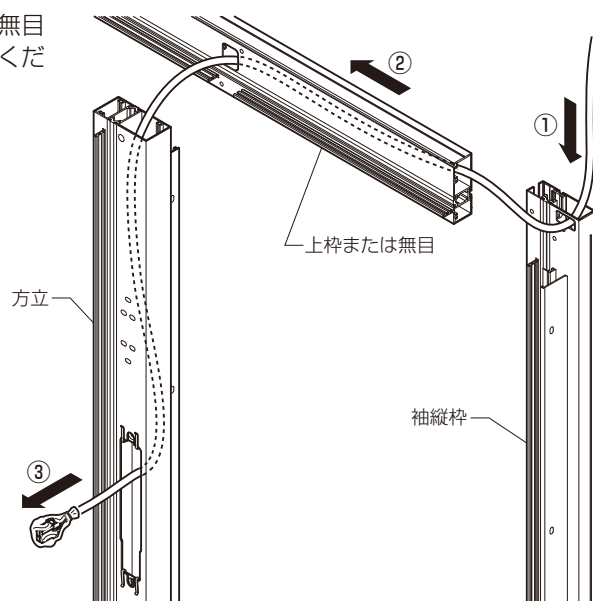
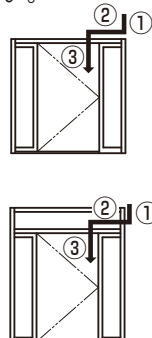
①躯体内配線コードを吊元側縦枠に通してください。

■片開き、親子、両開き、片袖の場合



■両袖の場合（枠の組立前に配線コードを通してください。）

袖縦枠→上枠または無目
→方立の順に通してくだ
さい。

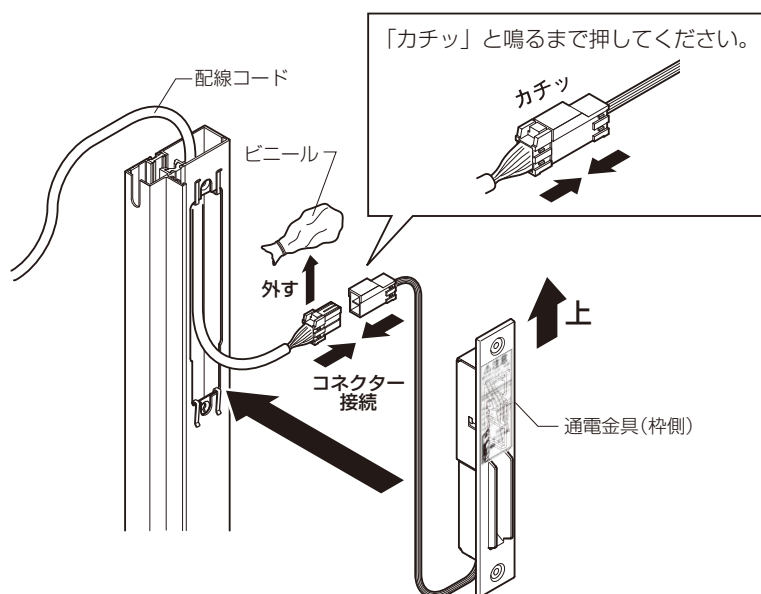


お願い

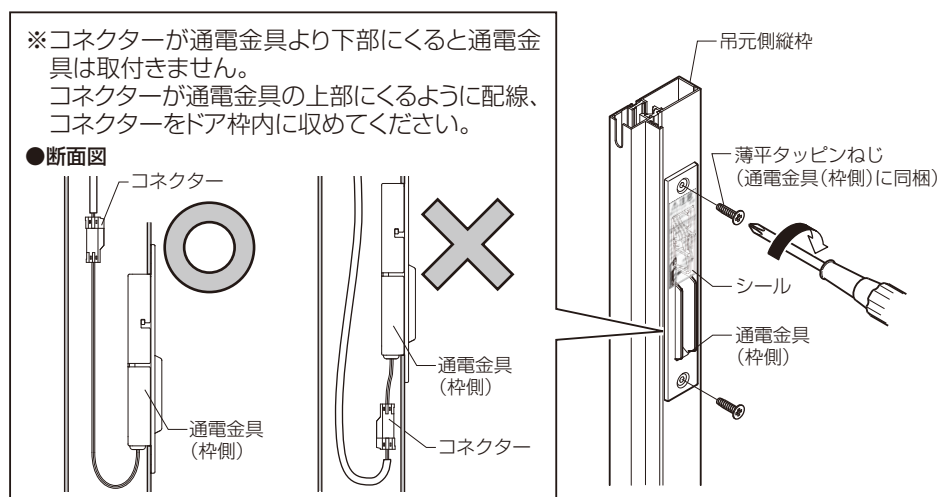
※コネクタのビニール袋は被せた状態で通してください。

※躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。

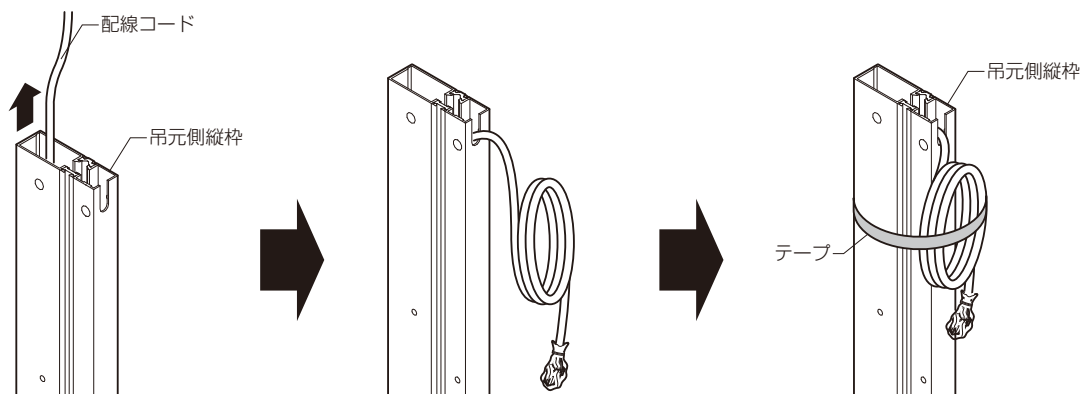
②コネクターを通電金具（枠側）に接続します。



③通電金具（枠側）を枠に取付けてください。



④縦枠上部のU字溝から配線コードを引き出し、躯体側の配線コードをテープなどでまとめます。



お願い

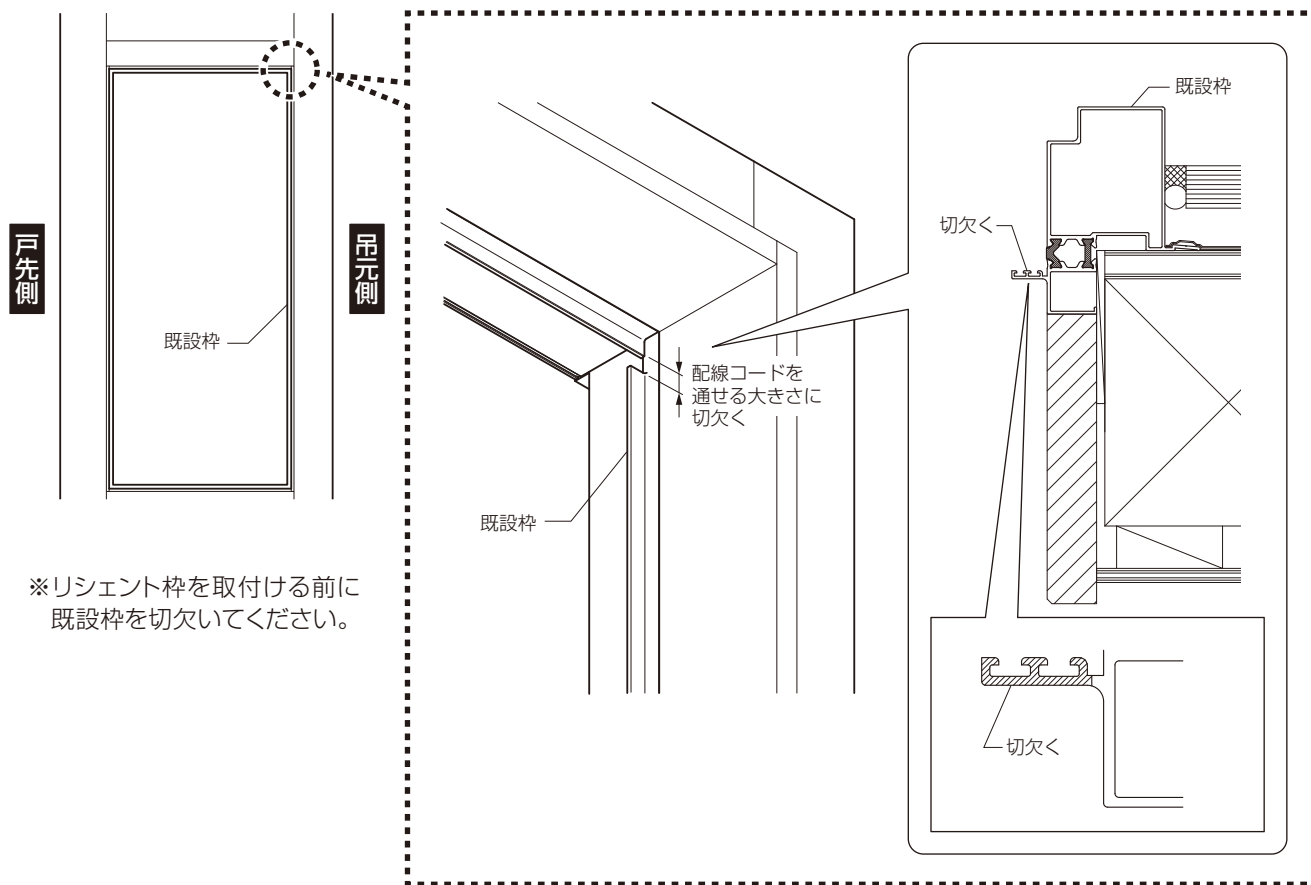
※ ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合のおそれやメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具（枠側）のシールはコネクター接続時まで剥がさないでください。

配線コード引き出し作業

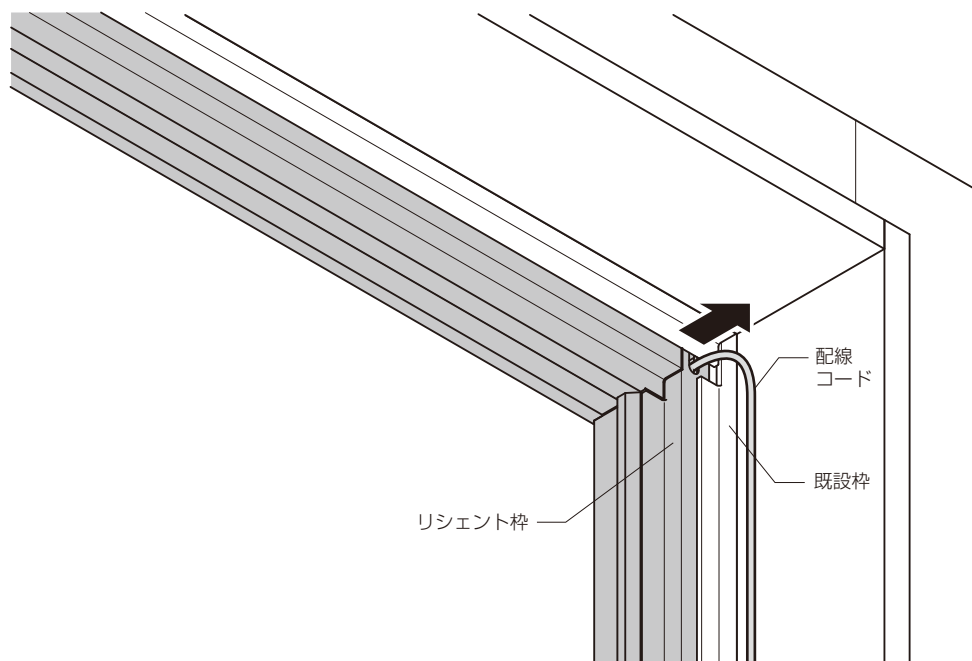
●配線コードを枠外へ引き出すために、既設枠と内額縁に切欠き加工が必要になります。

①既設枠の切欠き加工

①リシェント枠吊元側上部の既設枠戸当たりフィンに配線コードが通せる大きさに切欠いてください。
(親子、両開き仕様の場合は、親扉側の吊元を切欠いてください。)



②既設枠の切欠いた部分から配線コードを引きだし、リシェント枠を取付けてください。

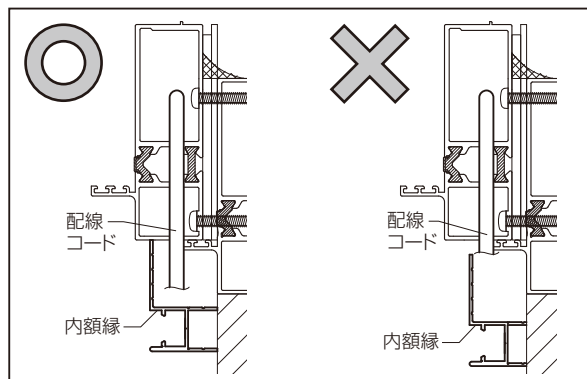


②内額縁の切欠き加工

お願い

※グロメットは防火戸には使用できません。防火戸の場合には、配線コードの外径に合わせて内額縁を切欠いてください。
切欠いた箇所から配線コードを引き出し、内額縁を取付けてください。

①内額縁を枠に当てて配線コードが隠れることを確認してください。

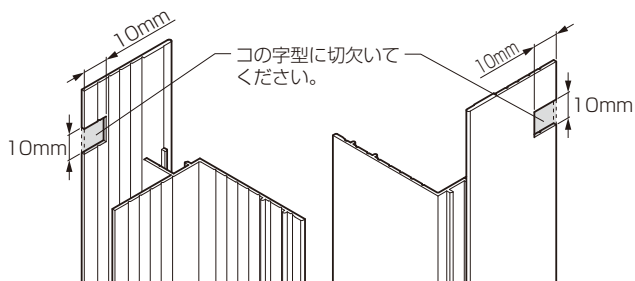


②配線コードを引き出すために、吊元側の内額縁の一部分を切欠いてください。

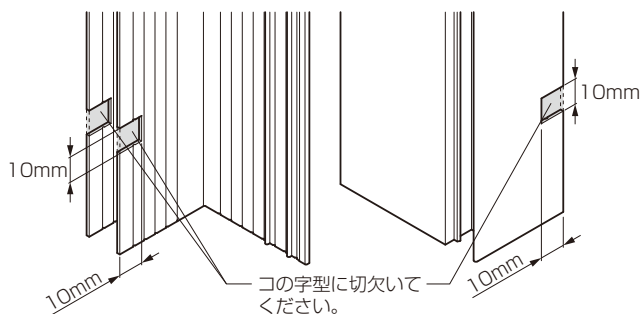
非防火戸の場合

グロメットを取付けるために、吊元側の内額縁の一部分を下図のようにコの字型に切欠いてください。切欠き寸法は10mm×10mmです。

■上部を切欠く場合



■上部以外を切欠く場合

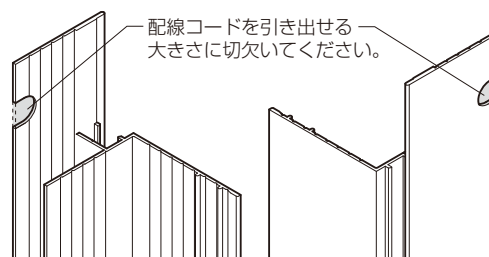


防火戸の場合

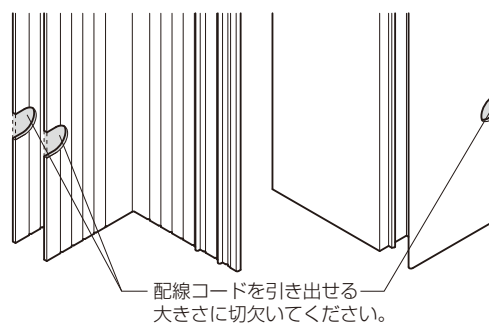
下図のように配線コードを引き出せる大きさに、吊元側の内額縁の一部分を切欠いてください。

※防火戸の場合にはグロメットを使用できません。

■上部を切欠く場合



■上部以外を切欠く場合



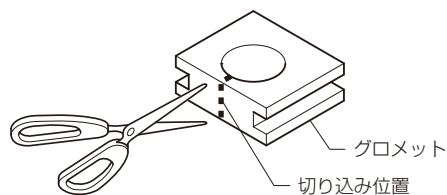
※内額縁(小)は型材の形状上、上部にしかグロメットを取付けできません。

※現場の納まりによっては、内額縁にグロメットを取付けできない場合があります。

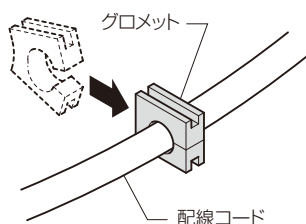
取付けできない場合は配線コードを引き出せるように内額縁を切欠いて対応してください。

非防火戸の場合

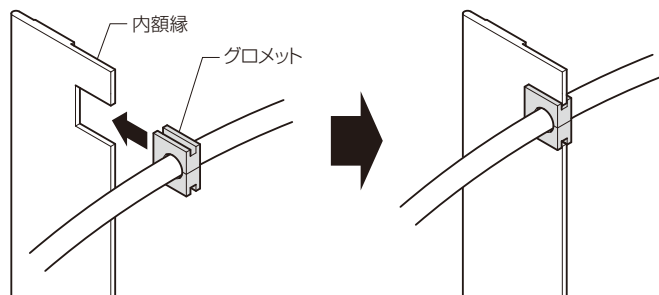
1. グロメットにハサミまたはカッターで切り込みを入れてください。



2. 配線コードにグロメットを取付けてください。

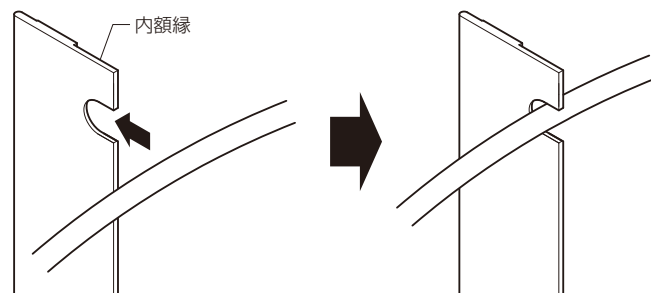


3. 内額縁にグロメットを取付けてください。



防火戸の場合

1. グロメットは使用せず配線コードを引き出します。

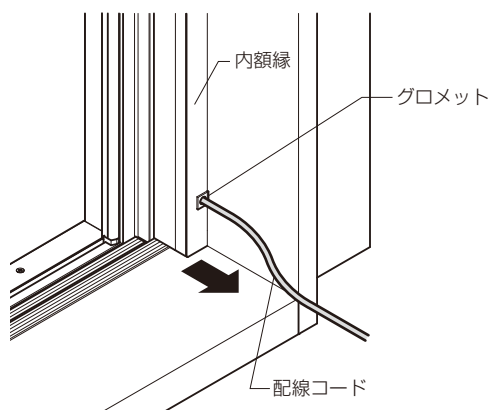
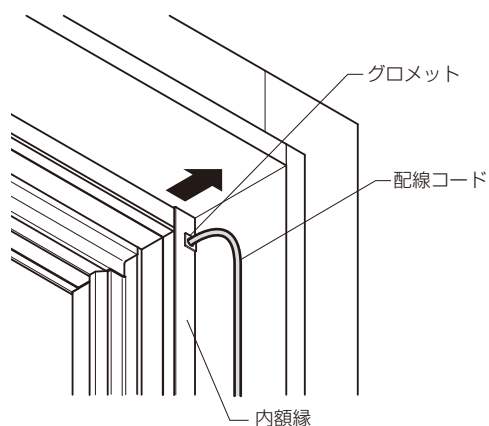


お願い
※防火戸の場合にはグロメットを使用できません。

③ グロメットまたは切欠き箇所から配線コードを引き出し内額縁を取付けてください。

■ 上部を切欠く場合

■ 下部を切欠く場合



※引き出した配線コードは、配線カバー等で仕上げてください。

ドア本体への部品取付け

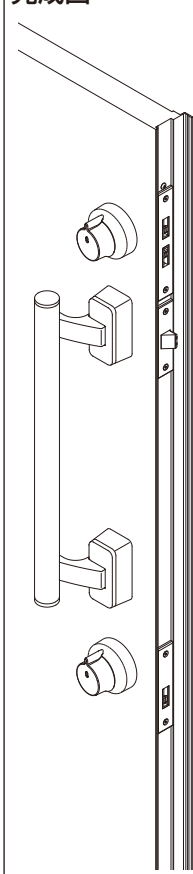
①電動サムターンの取付け

●サムターンは2個とも同じ部品で取付け方法も同じです。

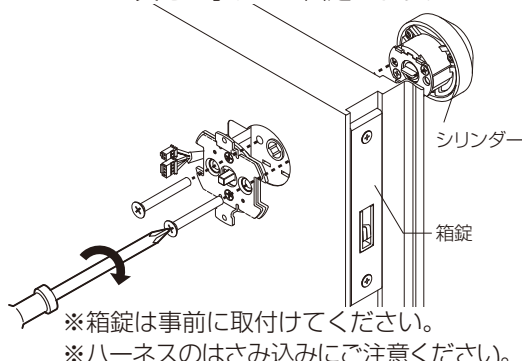
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

※ねじの締付けトルク(推奨)：1.2N・m {12kgf・cm}

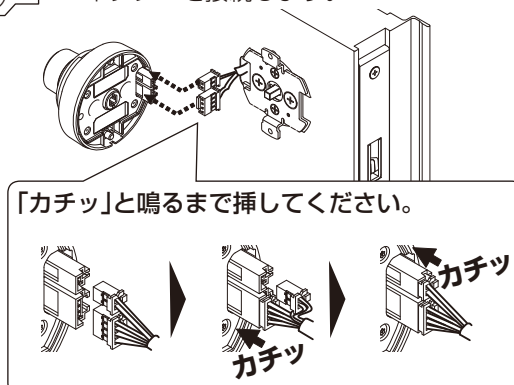
完成図



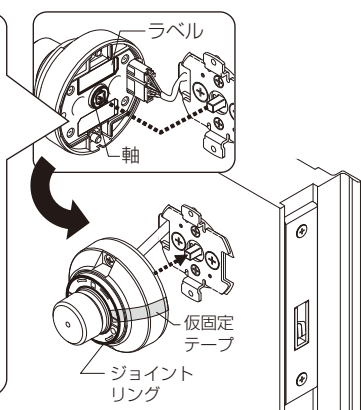
①-1 コネクターを引出してからシリンダーと金具を皿小ねじで固定します。



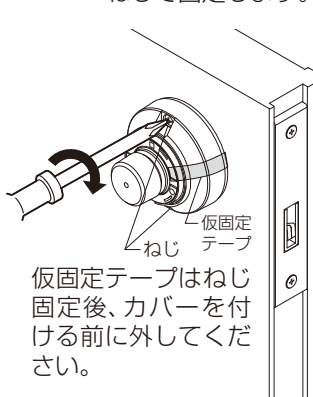
①-2 コネクターを接続します。



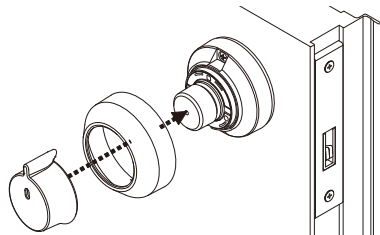
①-3 サムターン本体を金具にはめ込みます。(解錠状態で取付けること)



①-4 サムターン本体をねじで固定します。



①-5 カバーをはめてからツマミを付けます。



●ツマミの外し方

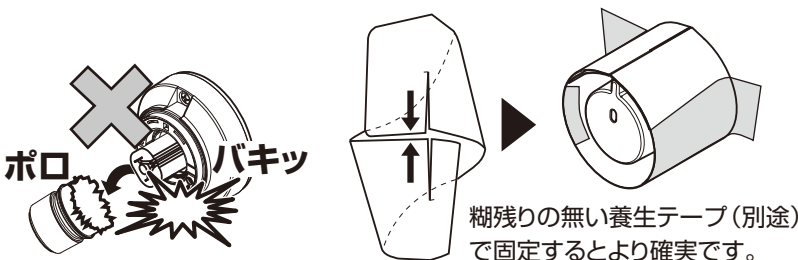
ボタンを押しながら引張ります。



取扱い上のお願い事項

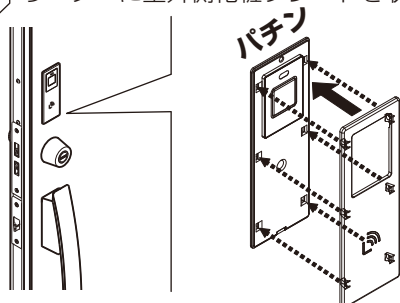
本製品は精密機器です。構成部品に衝撃や強い力を加えないでください。破損の原因になります。

破損防止のため、養生カバー(サムターンセットに同梱)を組立ててサムターンにかぶせ、施工中の養生用に活用ください。



②室外側化粧プレートの取付け

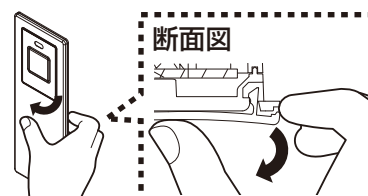
② リーダーに室外側化粧プレートを取付けます。(※S型ハンドルの場合、この作業は不要です。)



■メンテナンス時の対応

[化粧プレートの外し方]

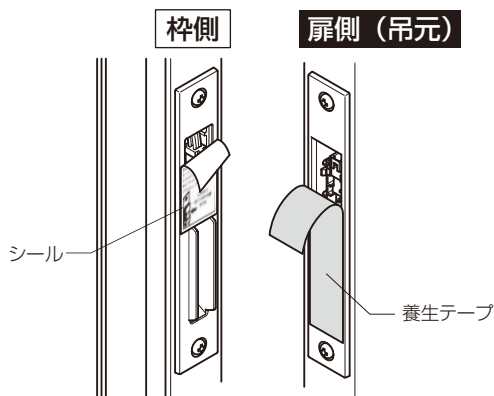
図のように中央を押しながら横から外してください。別の外し方をするとプレートが破損するおそれがあります。



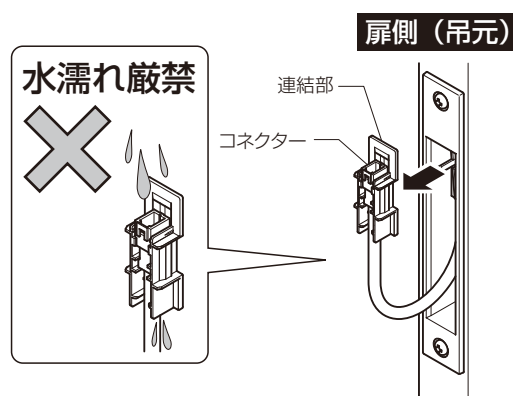
通電金具の接続

この作業は、扉を吊った後、扉を開けた状態で行ってください。
作業が終わるまでは扉を閉めないでください。
また吊元側の作業ですので、扉が閉まり指を挟まれないよう十分ご注意ください。

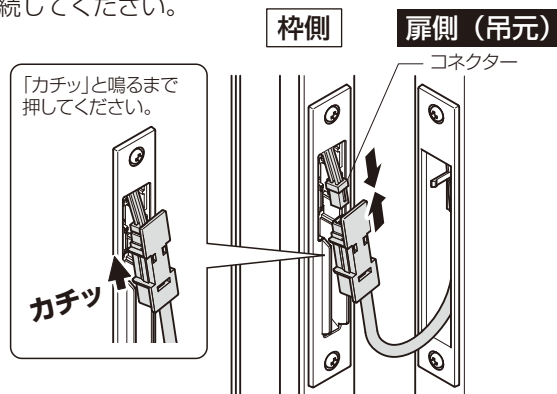
① 枠側のシールと扉側の養生テープを剥がします。



② 扉側からコネクター(連結部)を取り出します。

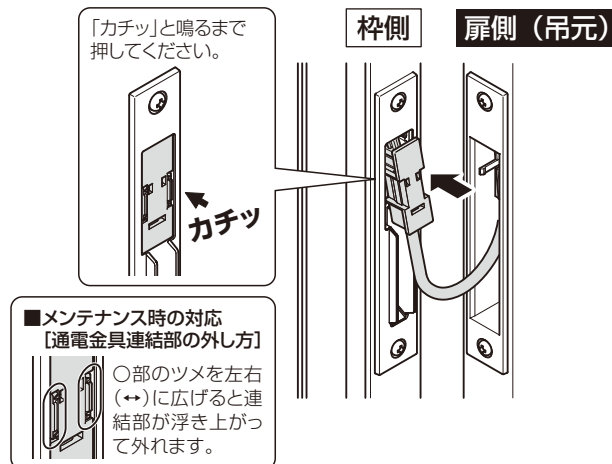


③ 扉側から取り出したコネクターを枠側のコネクターに接続してください。



※ コネクターが濡れたまま接続しないでください。接触不良の原因になります。

④ 連結部を枠側の通電金具にはめ込みます。



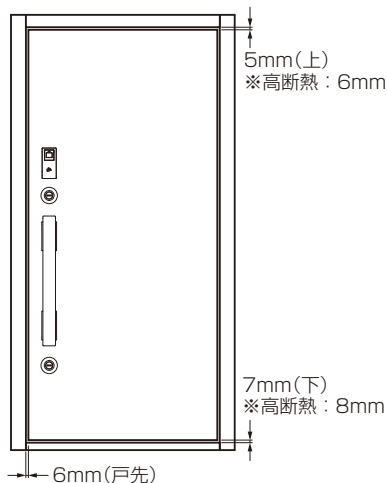
建付け調整

① 枠とドア本体間のチリ寸法の調整

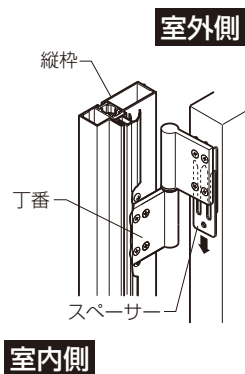
● 上下、戸先側のチリ寸法と気密材とドアの当たりが均等に当たるように確認、調整してください。

■ チリ寸法

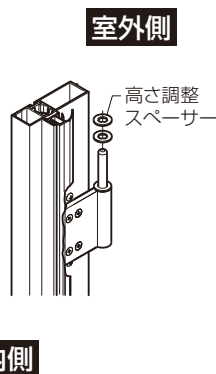
気密材とドアの当たりが均等でかつ狙いのチリ寸法になるように丁番で調整してください。
※ 詳しくは「玄関ドア[枠]取付け説明書」を参照願います。



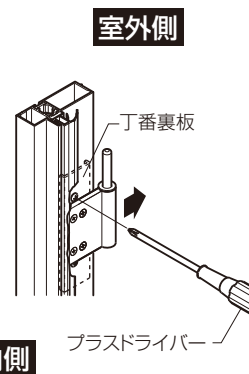
左右の調整



上下の調整

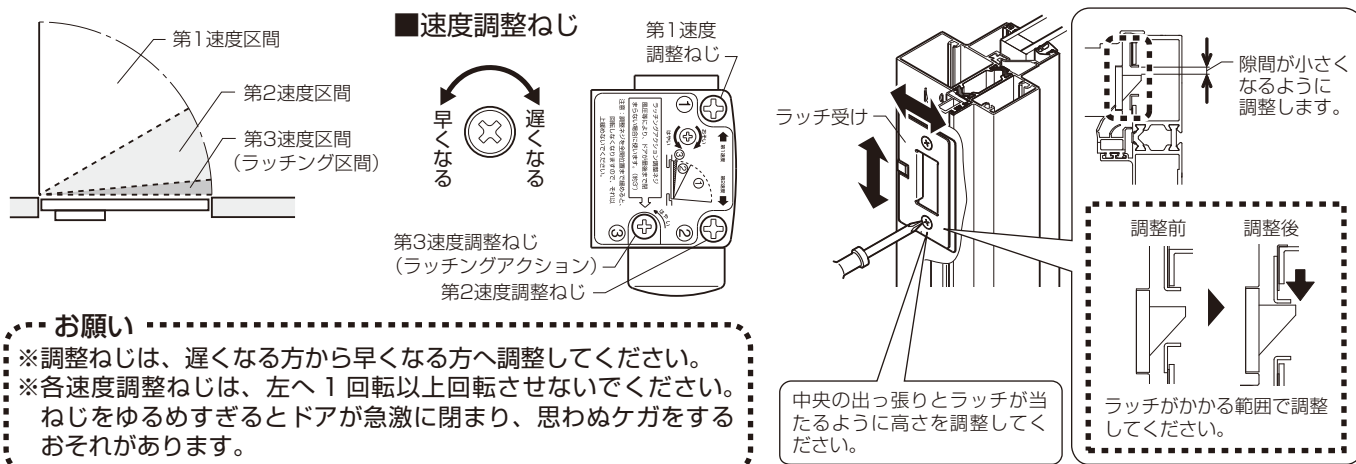


前後の調整



②ラッチの調整

- ラッチ調整の前にクローザの速度を適切に調整してドアが最後まで閉まるようにしてください。うまく閉まらない場合は、丁番もしくは子扉のフランス落としの調整を行ってください。そしてラッチがかからない場合、もしくはラッチがかかってもガタつきが大きい場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。



③ストライクの調整

- ラッチがかかった状態でドアを押し引きしながらサムターンを回し、カギがスムーズにかかるかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの位置を調整してください。

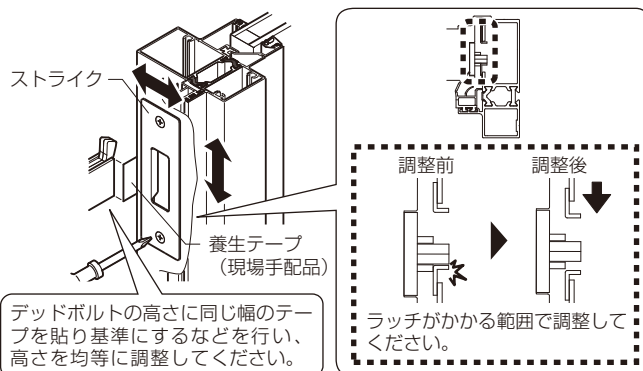
【確認方法】

扉を押しながら
(把手は押さない)

把手を引きながら

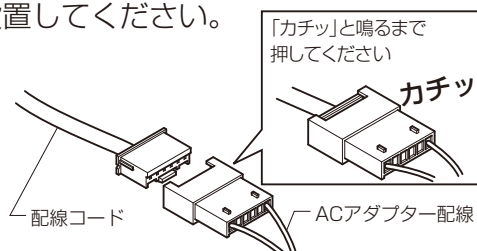


室内側

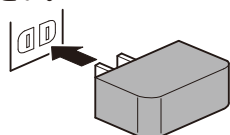


AC アダプターの取付け (ACアダプター式の場合)

- ※コントローラーユニット式の場合、AC アダプターは付属しません。次頁以降を参照してください。
- ※電気錠の作動にはコントローラユニットまたはAC アダプター(付属品)が必須です。
- 配線コードを壁内に収める場合は、AC アダプターはお手入れの必要性から右記の設置例の方法を参考に設置してください。



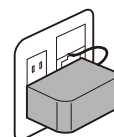
- 内額縁から引き出した配線コードのコネクターをACアダプターのコネクターと接続してください。
- ACアダプターを100Vのコンセントにしっかり奥まで差し込んでください。



- 【設置例】 ※コンセントの工事は電気工事区になります。

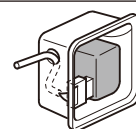
外付けタイプ 推奨(別売品)

- ・埋込扉付ダブルコンセント[WTF13523WK]
- ・埋込通線カバー(取付枠付) [WT9171W]
- ・スイッチ+コンセントプレート[WTC7112W]
- ・スイッチボックス標準型 2コ用 セパレータ付 [DM80202]



点検口納めタイプ 推奨(別売品)

- ・簡易耐火カバープレート(2連用) [WTC7792W]
- ・2コ用 スwitchボックス(カバー付) [DS4912]
- ※金属製
- ・埋込抜け止コンセント(シングル) [WN1061SW]



お願い

- ※ AC アダプターをコンセントから抜いた際に断線しないよう配線に余裕を持たせ設置してください。
- ※スイッチボックス内に納める場合は必ず点検口を設けてください。露出して設置する場合は、お子様の手の届かない所へ設置してください。(お手入れできる場所への設置が必要です)
- ※ご使用される方に電気錠の AC アダプターであることを説明しホコリによるトラッキング防止のため、定期的なお手入れをお願いしてください。

機器の取付け、配線工事 (コントローラーユニット式の場合)

機器の取付け、配線工事をするには電気工事士の資格が必要です。

■コントローラーユニットの取付け

●コントローラーの取付けは、『1/4 機器の設置で注意して頂きたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

1 ボックス取付けの場合

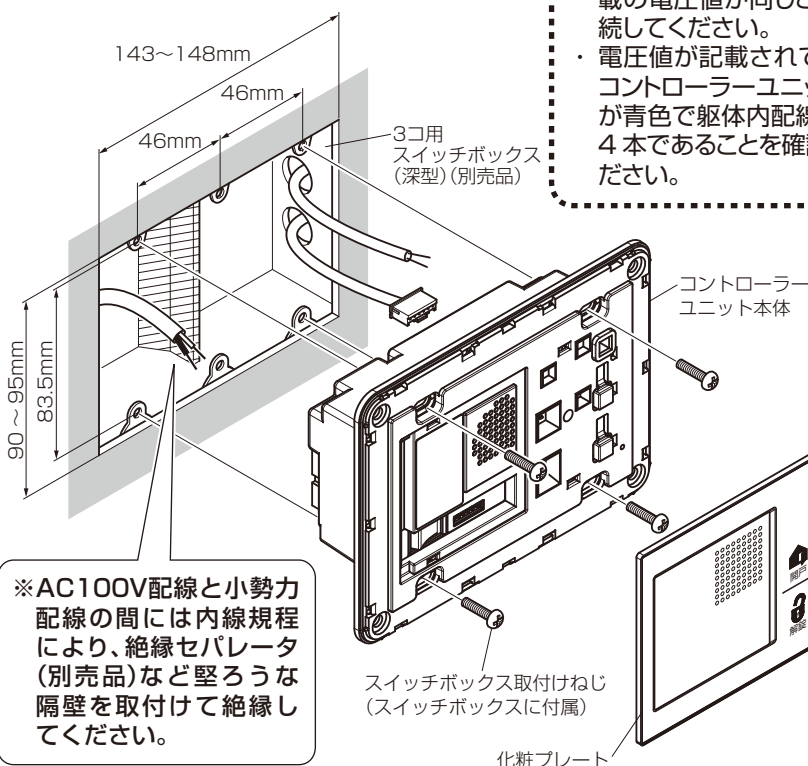
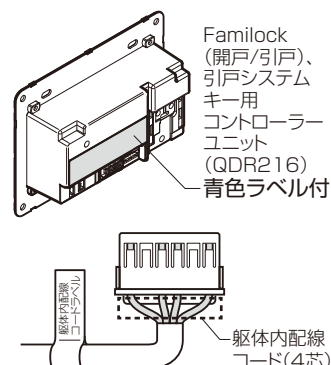
●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

※ねじの締付けトルク(推奨) : 0.6N・m {6kgf・cm}

お願い

※コントローラーユニットは商品ごとに品番が異なります。接続については以下の点にご注意ください。故障の原因となります。

- ・ 躯体内配線コードのラベルとコントローラーユニット背面のラベルに記載の電圧値が同じことを確認して接続してください。
- ・ 電圧値が記載されていない場合は、コントローラーユニット背面のラベルが青色で躯体内配線コードの芯数が4本であることを確認して接続してください。

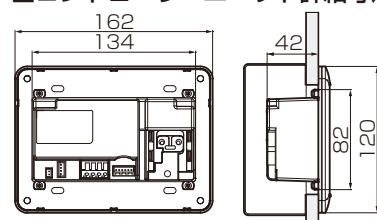


※AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータ(別売品)など堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。

スイッチボックス取付けねじ
(スイッチボックスに付属)

化粧プレート

■コントローラーユニット詳細寸法



2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は次の内容をお守りください。

- 1) パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。
- 2) AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。
- 3) 壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。
- 4) 端子カバーを取付けてください(詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。)
- 5) 下記、はさみ金具(別売品)を使用してください。

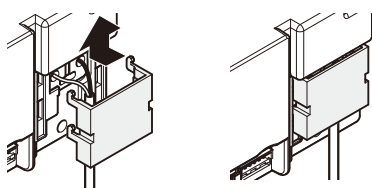
プレート

端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

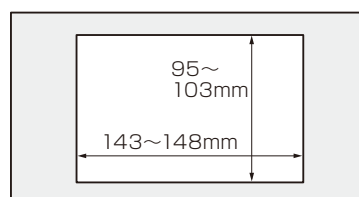
ツメをミゾ(4カ所)に差込み、上へあげます。
(外すときは、逆の手順になります。)



■適用はさみ金具(別売品)

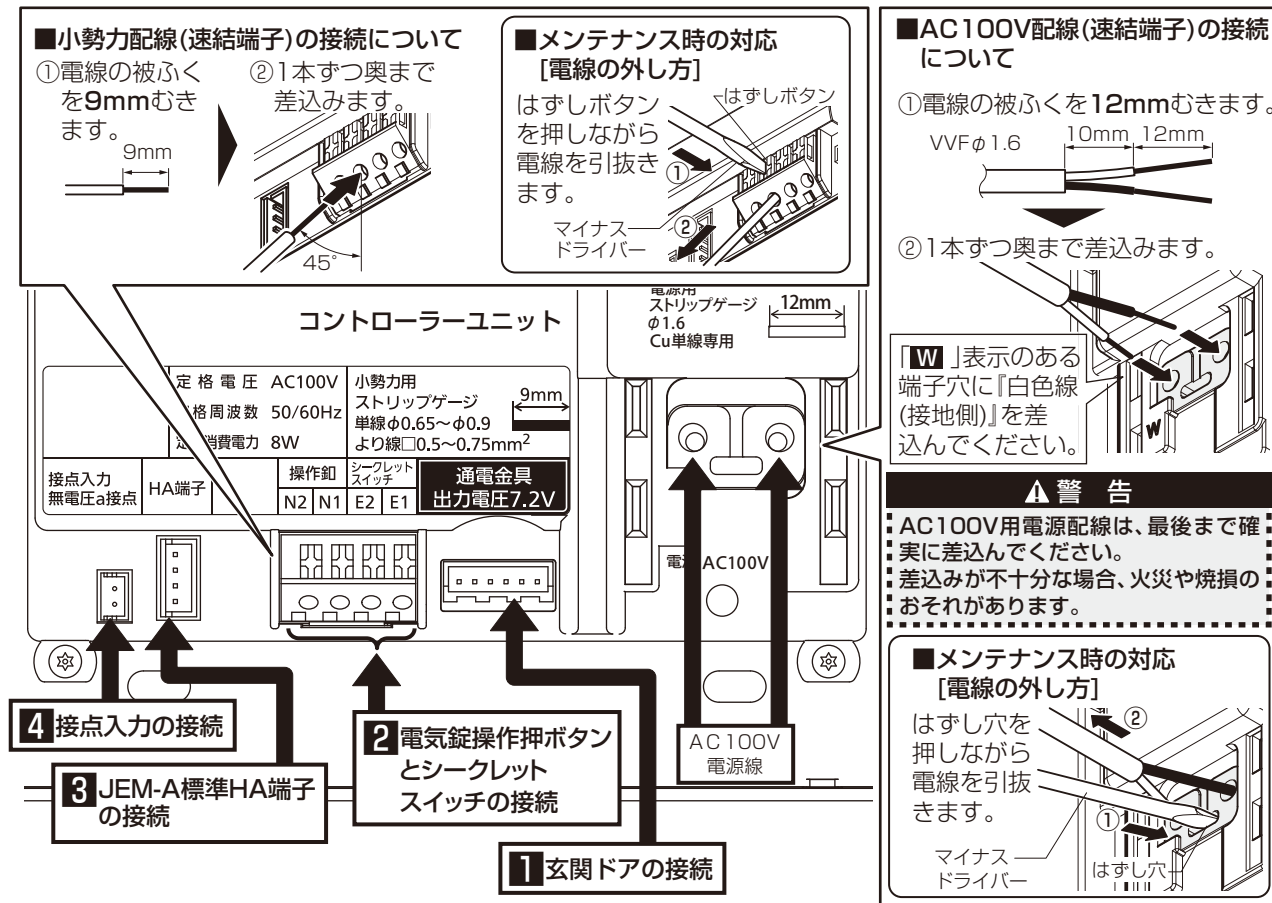
対象壁	パナソニック(株)製 はさみ金具品番
9～30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法



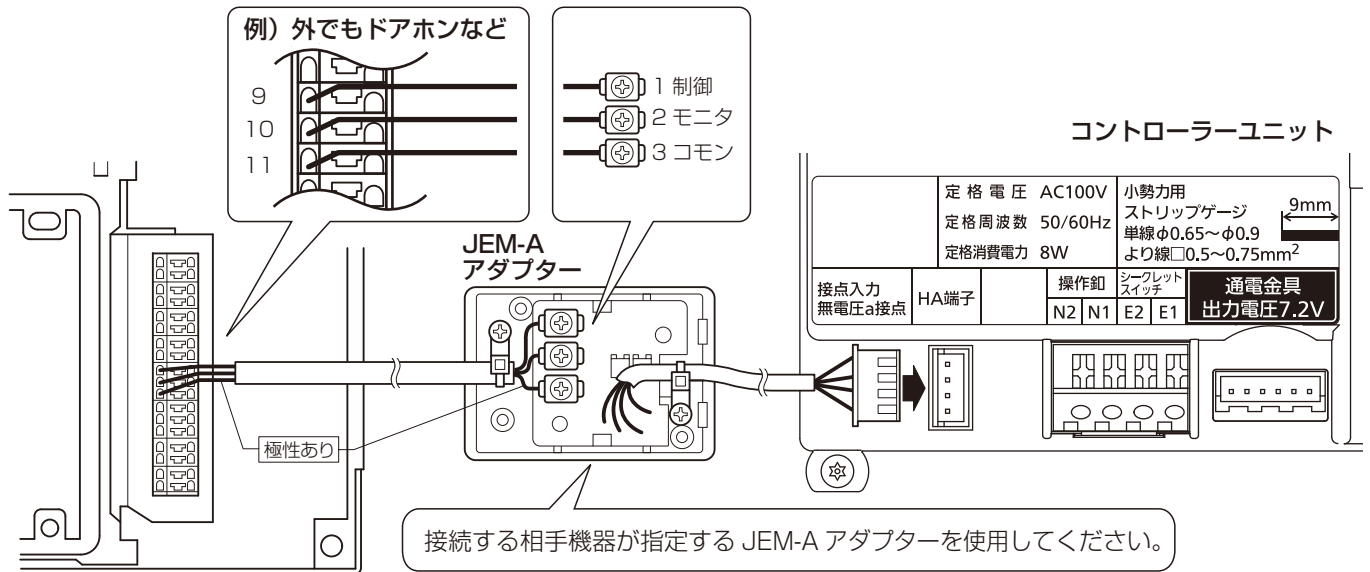
その他オプション品の取付けは、各器機に付属されている説明書に添って作業を行ってください。

■配線工事方法



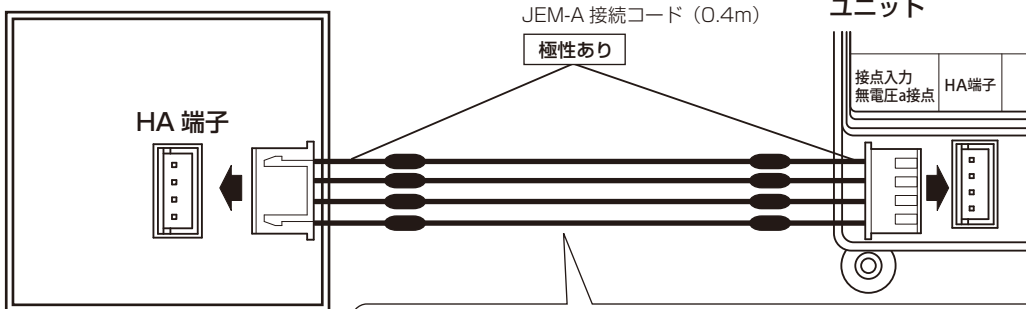
3 JEM-A標準HA端子の接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する

JEM-A 標準 HA 対応機器

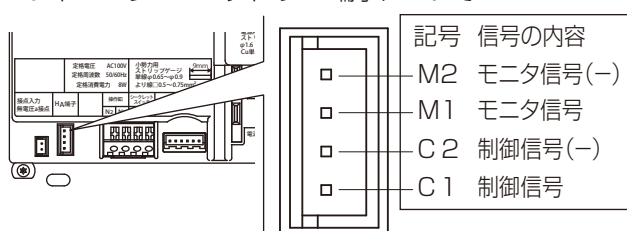


- ・付属の JEM-A 接続コードは 0.4m です。届かない場合は、別の配線ケーブルを使い、延長してください。
- ・中間接続箇所は配線の色が合うようにつなげてください。極性があるため、間違えると作動しません。
- ・延長可能な長さについては各機器のメーカーにお問合せください。

■JEM-A標準HA端子について

コントローラーユニットはHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠／施錠の遠隔操作を行うことができます。

コントローラーユニットのHA端子について



●モニタ信号

- ・施錠時 M1端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
- ・解錠時 M1端子がLow(M1-M2端子間に0V)

●制御信号

- ・C1-C2端子間に0.2~0.3秒の無電圧a接点入力(短絡)で電気錠が反転動作

※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

4 接点入力の接続

無電圧a接点の入力端子になります。

付属のオプションケーブルを使用し、無電圧a接点に対応する他社機器と接続することで接続機器側から電気錠の施解錠操作ができます。長さが足りない場合は別途配線を手配し延長してください。

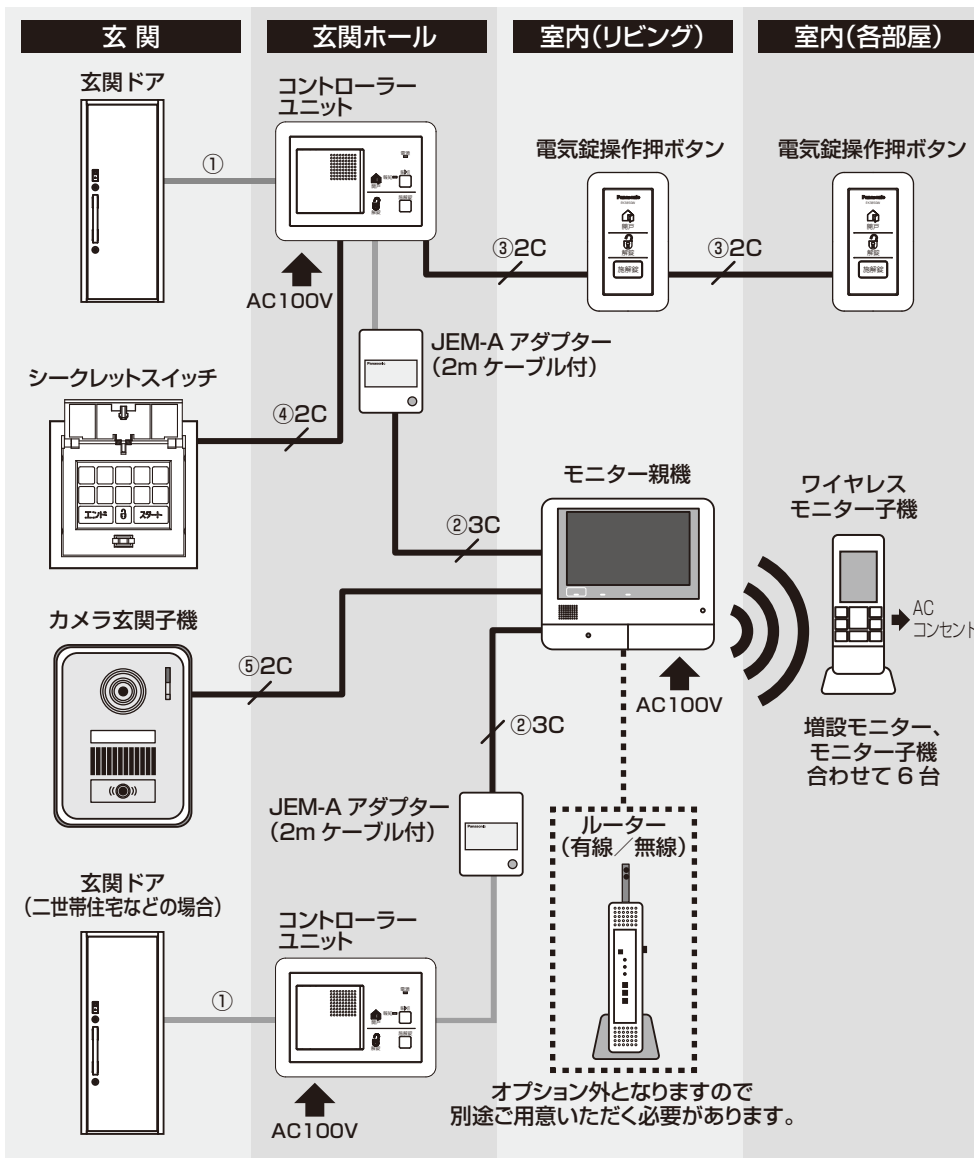
※a接点入力で接続する機器側の動作を保証をするものではありません。接続可否については、機器側のメーカーへお問い合わせください。

※接点入力を使用しない場合、オプションケーブルは接続しないでください。



■パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について

1 接続例



- 〔—〕の配線コードは、付属品です。
- 〔—〕の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※コントローラーユニットには掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。
※コントローラーユニット式の配線図です。ACアダプター式はドアホンとの連携はできません。(接続はP.12参照)

【同梱品】躯体内配線コード

項	接続先	配線長
①	コントローラーユニット～玄関ドア	10m (別途手配品 15・20m ※1)

※1) 初期同梱の10mでは足りない場合は、別途15・20mを手配ください。

【現場手配品】

項	接続先	単芯線 (φ0.65~φ0.9)の 接続可能距離(※2)
②	JEM-A アダプター～モニター親機	50m
③	コントローラーユニット～電気錠操作	
④	コントローラーユニット～シークレットスイッチ	
⑤	モニター親機～玄関子機	100m

※2) 接続できる単芯線の最大長さです。上記の範囲内での手配をお願いいたします。

2 取付け用現場手配部品一覧

商品名	取付け用部材(※1)
コントローラーユニット	JIS 3コ用スイッチボックス(深型)(※2)(※3) パナソニック(株)製 押さえ金具3連(品番:WN3998)(※2)
電気錠操作押ボタン	JIS 1コ用スイッチボックス
取付プレート(操作押ボタン用)	はさみ金具 押さえ金具(1連用)
シークレットスイッチ	JIS 2コ用スイッチボックス(カバー付)
取付プレート(シークレットスイッチ用)	
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3)(※4)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※4)

※配線ケーブルは、「システム配線図」も参考に手配してください。なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。

※1) 各機器の取付けには、上記取付け用部材の内、いずれか1つが必要になります。はさみ金具、押さえ 金具に品番が記載されている場合は、記載されている品番以外のものは使用できません。取付け 用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。(木壁の場合、取付け用部材を使用しなくても直付け可能な機器もあります。)

※2) 取付けの壁面より、奥行きは47mm以上必要になります。

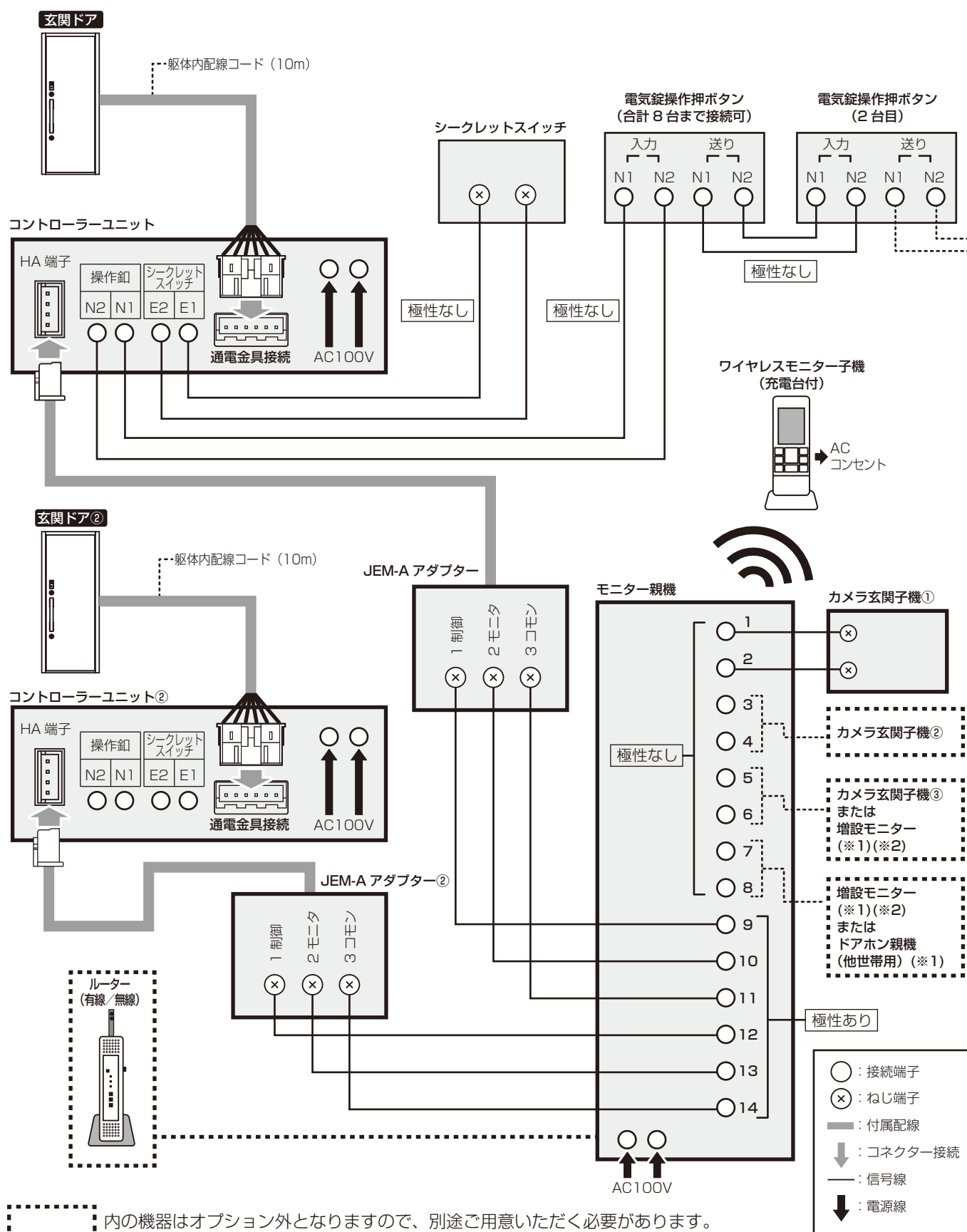
※3) スwitchボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレータをご使用ください。

※4) 木壁の場合、取付け用部材を使用せず付属の取付ネジで直付け可能です。

※外でもドアホンの施工や追加機器については、外でもドアホン同梱の取扱説明書・施工説明書をご確認ください。合わせてパナソニック社のホームページを参照ください。



■システム配線図（オプション品）

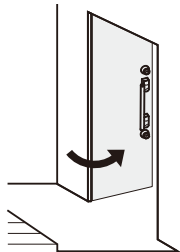


※1) カメラ玄関子機を 3 台接続した場合、増設モニターとドアホン親機（他世帯用）はどちらか一方しか接続できません。
 ※2) 増設モニターは 1 台まで、ワイヤレスモニター子機と合わせ 6 台までとなります。
 詳しくは「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」を確認ください。

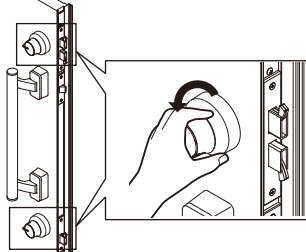
動作確認

■ AC アダプター式の動作確認

① ドアを開けます。



② 上下のサムターンを順番に手で施錠します。



状態

「ピ音」が5回鳴り
LEDが橙色に
点滅する



何も起こらない

結果

正常です。
引渡し時までACアダプター
を抜いておいてください。

異常です。
下記の手順で点検を行い
メンテナンスしてください。

■点検手順

上記の動作確認で
「異常」になった場合
のみ実施してください。

●ドアを開けた
状態でリーダー
のボタンを押す。



状態

「ピ音」が5回鳴り
LEDが橙色に点滅する

何も起こらない

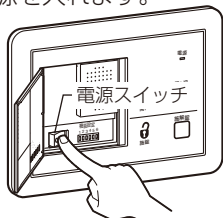
結果

サムターンの
コネクター接続ができていない

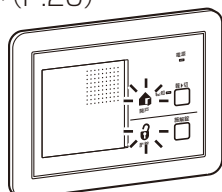
・AC100Vが来ていない
・配線が接続されていない

■コントローラーユニット式の動作確認

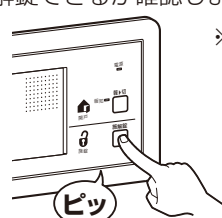
① コントローラーユニットの
電源を入れます。



② 開戸表示と解錠表示が正しく
点灯、消灯するか確認します。
→(P.20)



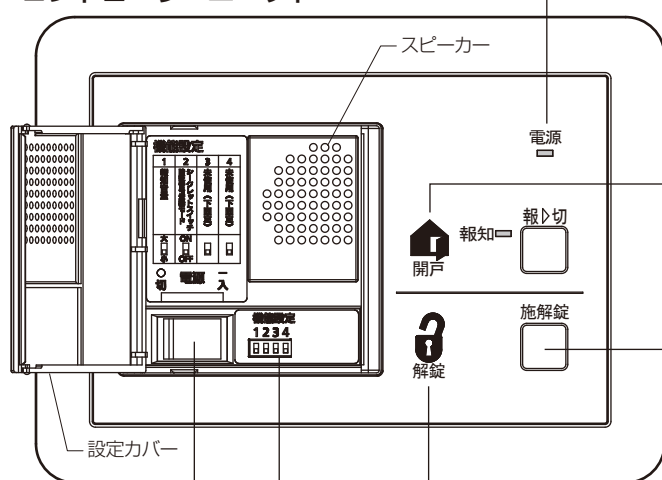
③ ドアを閉め施解錠ボタンを押し、
施解錠できるか確認します。



※入荷時のコントローラー
は未登録状態となっており
施解錠操作できません。
登録するには解錠状態で
5分放置、または施解錠ボ
タンを押してください。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.20を参考に対処してください。

コントローラーユニット



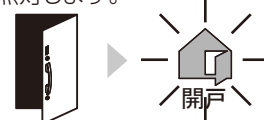
電源表示

電源が入っている時に
緑色で点灯します。



開戸表示

ドアが開いている時に赤色で
点灯します。



施解錠ボタン

ドアが閉まっているときのみ錠の操作ができます。

重要なお願

点検終了時は必ず手でサムターンを回し解錠してください。
施解錠ボタンによる解錠後、電源の入り切りをすると意図せ
ず自動施錠する場合があります、閉め出されるおそれがあります。

電源スイッチ

電源の入り、
切りができます。

報知音量(スイッチ1)

報知音 (ポロロン)
の音量を大きくできます。

■報知音量の調整



シークレットスイッチ 暗証番号登録モード(スイッチ2)

シークレットスイッチ暗証番号登録
モードの電源の入り切りができます。

■報知音量の調整



解錠表示

錠が上下2つとも解錠して
いる時に赤色で点灯します。



※防犯のため、お施主さま引渡し後、速やかにシークレットスイッチの暗証番号を登録してください。

その他オプション品の設定、動作確認方法は、各機器に付属されている説明書に添って行ってください。
確認後、引渡し時まで電源スイッチをOFFにしてください。

■カードキー・タグキーを使った動作確認

室外側

① 同梱のカードキー3枚またはタグキー3個は未登録です。(以下、「タグキー」は省略)
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。

解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。

② フタのねじをゆるめます。
手回しドライバーをご利用ください。
約10回まわします。

フタを外します。

登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅します。

③ 1枚ずつカードキーをマークにかざし登録します。

【未登録】

【登録済】

*1) 登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例：1枚目『ピッ』、2枚目『ピッ、ピッ』)
※最大登録枚数は10枚です。
※S型ハンドルの場合、マークはハンドルに付いています。

④ 約30秒待つと登録が終了し『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*2

*2) 登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

⑤ フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

⑥ 外に出てカードキーを使って施解錠の確認を行ってください。

タッチボタンを押し、カードキーを「マーク」にかざします。

2つのカギが施解錠することを確認します。

お願い

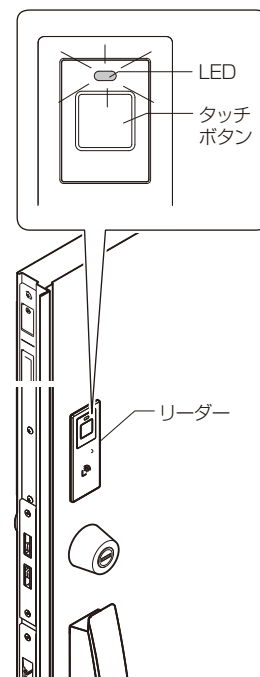
※電気錠操作では上下2ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになります。この為、締め出しの可能性があるため別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。

※工事中は連動施錠機能をONにしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.19参考に対処してください。

■ドアのブザー音と表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	施錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	赤色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	解錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ →	施錠できました。
ピッピッ ● ●	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ →	解錠できました。
ピー ■	緑→赤色で交互 に点灯繰り返し ☀ ☀ ☀ ☀ …	登録ボタンが押され登録モード に入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅 (アップデート終了まで) ☀ ● ☀ ● …	ファームウェアアップデート状 態へ入りました。

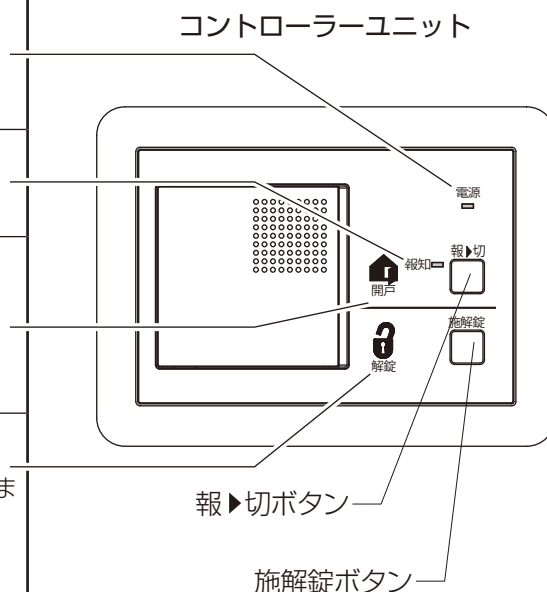


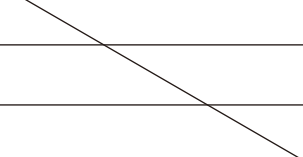
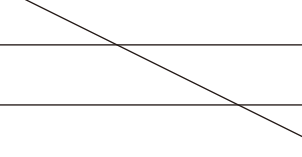
ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●●	橙色で点滅 (1.5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	ドアが開いた状態で施解錠操作 が行われました。	ドアを閉じてください。
		施錠状態で登録ボタンが押され ました。	登録の際は解錠状態で行って ください。
		電動サムターン作動途中でドア が開けられました	手でサムターンを回し解錠に してからドアを閉じてください。
ピピ × 8 ● ● ● ● ● ● ● ●	橙色点滅 (2.5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	上の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	建付け調整を行ってください。 → (P.11 ③ストライクの 調整参照)
ピピピ × 6 ● ● ● ● ● ● ● ●		下の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3 ● ● ● ● ● ● ● ●		上下の錠 (デッドボルト) がス トライクに接触しています。	
ピーピ × 4 ■ ● ● ● ● ● ● ●	橙色で点灯 (5 分間) ☀ →	制御ユニット、リーダーの故障。 もしくは扉内の配線に異常があります。	部品の交換が必要です。
ピーピピ × 4 ■ ● ● ● ● ● ● ●		上電動サムターンの取付け不備 または故障しています。	電動サムターンをドアから完 全に取外し、再度取付けてく ださい。それでも復帰しない 場合は部品の交換が必要です。 → (P.9 ①電動サムターンの 取付け)
ピーピピピ × 4 ■ ● ● ● ● ● ● ●		下電動サムターンの取付け不備 または故障しています。	
ピーピピ、ピーピピピ × 2 ■ ● ● ● ● ● ● ●		上下電動サムターンの取付け不 備または故障しています。	
ピー × 4 ■ ● ● ● ● ● ● ●		リーダーに一時的なエラーが発 生しています。	電源を入/切して再起動して ください。それでも復帰しない 場合は部品の交換が必要で す。
ピー × 8 ■ ● ● ● ● ● ● ●		制御ユニットに一時的なエラー が発生しています。	
—	橙色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● ● ● ●	玄関キー (カードキーなど) が 登録されていません。(出荷時)	カードキーの登録を行って ください。→ (P.18)
ピッ ●	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ → (動作なし)	玄関キーが登録されていません。 (全末梢後 / 施錠時)	
	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ → (動作なし)	玄関キーが登録されていません。 (全末梢後 / 解錠時)	

※ S 型ハンドルの場合は、リーダーがハンドルに内蔵されており、一部形状が異なりますが、ブザー音や LED 表示内容は変わりません。

■コントローラーユニットのブザー音と表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源 	電源が入ってます。
報知表示が緑色で点灯 報知 	報知設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯  開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯  解錠	カギが上下2つとも解錠しています。



ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン … ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に 開戸表示が赤色の点灯 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が 一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が 交互に点灯する 電源  ↔  報知	躯体内配線コードが短絡して います。	【電気工事区分】 躯体内配線の短絡箇所を確認し 修理してください。
—	開戸表示と解錠表示、報知 表示が同時に点滅する。	制御ユニットとコントローラー ユニット間の通信が24時間 途切れました。	コネクター接続個所と配線を確認 してください。

商品仕様

■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約8W／待機時：約1.5W
出力電圧	DC7.2V
音量	報知音(大)：約73dB(前方1m)
使用環境温度範囲	－10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	－20～60℃
外形寸法(単位mm)	162×120×52 (詳細はP.12参照)

■ACアダプター

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約6.5W／待機時：約0.1W
出力電圧	DC7.2V
使用環境温度範囲	－10～50℃
使用環境湿度範囲	5～95% (相対湿度)
保存環境温度範囲	－20～65℃
外形寸法(単位mm)	右図に記載

■ドア側(AC式)

入力電源仕様	DC7.2V (コントローラーユニットまたはACアダプターより給電)
出力周波数	2402～2480MHz／13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m／112dB μ V/m (参考)
無線局の種類	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム／誘導式読み書き通信設備
使用環境温度範囲	－10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	－20～60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	－10～50℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	－20～60℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。

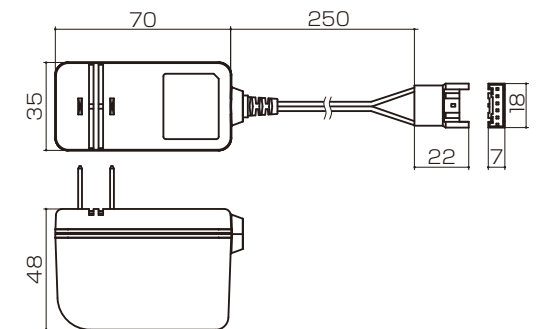
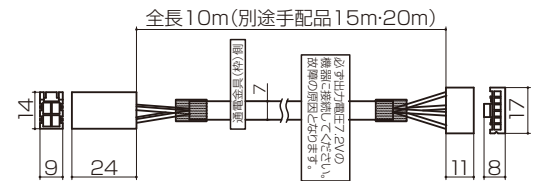
以下の機器はパナソニック株式会社の製品です。

仕様については、パナソニック株式会社のホームページまたは各機器同梱の取付け説明書を参照ください。

- 電気錠操作押ボタン
- シークレットスイッチ
- JEMA アダプタ
- ドアホンモニター親機
- ドアホンカメラ玄関子機
- ワイヤレスモニター子機

■躯体内配線コード

外形寸法 (単位 mm)



株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAM-969B	事業所コード AW61	2023.3.6発行
---------------	-------------	------------

